

双葉通信【第 190 回】（人生は旅人№8）“ふくしまに恋をして 福島人に” 20231020

香港で、ドル高円安、日本の失われた 20 年について大いに憂える！！

10 月 21 日～24 日の 3 泊 4 日、香港へ行って来ました。今回は、香港が観光キャンペーンをして、香港航空の航空券がナント無料でした。ただし、空港税等で 2 万円かかりました。

香港でまずビックリしたのは、物価が高いことです。ガイドブック（2017 年）では、1 香港ドル＝16 円ですが、今回は 1 香港ドル＝21 円でした。とにかく食事代が高いです。どんなに安い店で、安い料理を注文しても 50 香港ドル（約 1,050 円）です。ちなみにマクドナルドのセットが、49 香港ドル（約 1,000 円）です。昔は 1 ドル＝75 円の時もありましたが、現在は 1 ドル＝150 円です。この失われた 20 年で、アベノミクスと黒田日銀の異次元の金融緩和の失敗によって、日本の財政赤字は 1,270 兆円にもなっていました。その結果、世界中で円が売られて、円の価値は半分になったのです。新聞では、GDP で 2023 年に日本はドイツに抜かれて 4 位になります。2026 年にインドに抜かれて 5 位になると予測されています。後 10 年も経てば、日本は G7（主要先進国）からも脱落すると思います。

しかし、香港の乗り物料金は安いです。トラム（路面電車）の運賃は 2.6 香港ドル（52 円）です。また、香港のトラム（路面電車）もバスも 2 階建てです。私は、足腰が弱くなったので、今回は観光地には行かないで、トラムに乗って、あちらこちらで降りました。トラムの駅は、60 か所ぐらいあります。トラムは香港島の東西に走っています。東行きは「E10」、西行きは「W20」など駅ごとに番号が付いています。私はトラムの 2 階の一番前の席に乗って、始発駅から終点駅まで乗りました。そして、ノートに番号を振って、グッチやルイ・ヴィトンのある駅は×、露店や市場、下町風の駅には○、マクドナルドや吉野家・すき屋のある駅には△をつけました。そして、○の駅で降りて辺りを散策して、疲れたらマクドナルドのある駅で降りて休憩しました。

香港は、高齢者にとっては天国だと大いに感心する！！

香港では、儒教の教えなのか、今でも高齢者を敬う生活習慣が残っています。

第一は、65 歳以上の高齢者は、地下鉄・バス・トラムの運賃が半額です。オクトパス（日本のスイカ）というカードがあって、高齢者用を買うと、乗り物が自動的に半額になります。外国人もパスポートを見せると、半額になります。私は売り場で職員の人にパスポートを見せようとしたら、いいよと手を振られました（すごいショック）。トラムの運賃も、半額の 1.3 香港ドル（26 円）です。

第二は、私が地下鉄やトラムに乗ると、座っていた若者は直ぐに立って、私に席を譲ってくれます。日本の乗り物の優先席は、若者優先の席ですが、香港の乗り物の座席は、全てが高齢者の為の優先席なのです。

第三は、弱者のための交通政策です。道路の下には地下鉄が、道路にはトラムが走っています。つまり、香港では、地下鉄が開通しても、トラムは廃止しなかったのです。日本では、地下鉄が開通すると、それと並行して走っていた路面電車やバスは廃止されました。トラムは、500m～1,000 毎に駅があります。高齢者や杖を突いた人が乗り込んできます。



【交通弱者の足—トラム（路面電車）と二階建てバス（香港島）】（2023年10月21日撮影）



【全ての店が果物屋—買ってその場で食べたくなる（九龍）】（2023年10月22日撮影）